



お話の学習指導案



教育目標

題名

・ こうしといれかわっただいこん

年齢

・ ようじ(3~5さい)

主題

- ・ もくひょう：まじめでやさしいところをもったひとが、しあわせになるということをする。
- ・ しゅだい：せいじつな、かんぜんちょうあく(よいおこないをしようとして、わるいおこないをこらしめること)

キーワード

・ せいじつ、かんぜんちょうあく、だいこん、ちょうかん、こうし、よくばり

韓国文化

- ・ もくひょう：ふゆのあいだにたべるためのキムチをいちどにたくさんつける、だいかんみんこくのキムジャンぶんかをならう。
- ・ ようそ：キムチづくり(キムジャン)

韓国語

- ・ もくひょう：いのちがそだつようすとそれにかんするひょうげんをならう。
- ・ たんご：무력무력(すくすく)、토실토실(ふっくら)
- ・ ひょうげん：
곡식이 무력무력 자랐어요.
(こくもつがすくすくとそだちました。)
송아지가 토실토실 컸어요.
(こうしがふっくらとそだちました。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
“こうしといれかわっただいこん”です。

みなさん、だいこんでつくることができるりょうりには、どんなものがありますか？だいこんをうすくきった、だいこんのせんぎりもあるし、だいこんをかわかしたほしだいこんやだいこんをいれてにこんだ、ムックク(だいこんスープ)もあります。からだによくて、おいしいだいこんで、たくさんのたべものをつくることができます。しかし、とてもおおきなだいこんで、こうしをもらったのうふがいたそうです。だいこんとこうしをかえた、のうふのおはなしをきいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

“こうしといれかわっただいこん”のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！
♪ いちにいさんし！ お話のはじまり！ わたしたちみんながたのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いちにいさんし！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、あるむらに、まじめでころのやさしいのうふと、ふまじめで、よくばりなのうふがすんでいました。ころのやさしいのうふはあめがふっても、ひざしがぎらぎらとてっても、いちにちもやすまずにはたけにでて、はたらきました。

いっぽうで、よくばりなのうふはよくばりなだけで、ふまじめで、なにかにつけてやさしいのうふにじぶんのはたけしごとをまかせました。

“ちょっと、わたしのからだのちょうしがわるいからなんだが、しごとをするついでに、わたしのはたけもくさとりしておいてくれないか？”

“いいよ、なぜだめなんだ？おまえたちのはたけまでくさとりしておくから、しんぱいせずにはやくよくなれよ。”

やさしいのうふは、ふまんをいちどももらさずに、よくばりなのうふのはたけしごとをたすけてあげました。はるさきからあきがくれるまで、いっしょうけんめいにはたらいたやさしいのうふのはたけには、あらゆるこくもつがすくすくそだちました。

“あなた、きょうはだいこんをぜんぶぬいてしましましょう。だいこんでキムチづくりもして、のこったものはいちばにだしてうってしまおう！”

“はい、そうですね。こしはだいこんのうじがうまくいきましたね。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

やはり、ころがやさしいつまがいました。

だいこんばたけにいったのうふは、だいこんをすっすっとぬきました。

“おや、まあ。なんでだいこんがこんなにおおきいんだ？”

のうふはとてもよくそだっただいこんをみて、うれしくてひよいひよいとおどりたくなりました。のうふはいっしょうけんめいにだいこんをぬきました。ついに、さいごにのこっただいこんをぬこうとしましたが、どうしたことか、おおきいからなのか、どれだけちからをいれてもまえのようにはぬけませんでした。

“よーし!… ふゅー、とにかくひとりではぬけないな。”

やさしいのうふは、よくばりなのうふをたずねにいきました。

“おい、わるいんだけど、だいこんをぬくのをちょっとてつだってくれないか？”

“わるかったら、たのまなければいいじゃないか？”

“ほほ、ほんとに。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

よくばりなのうふのことばにあきれたやさしいのうふは、ほかのきんじょのひとにたすけてほしいとおねがいしました。きんじょのひとびとがみんなちからをあわせて、さいごのだいこんをぬきました。

“じゃあ、いちどにちからをいれて、ぬいてみましょう。いち、にい、さん！よいしょ、よいしょ！”

ついにまったくうごかなかっただいこんが、すっとぬけました。しかし、これはどういうことでしょうか？だいこんがひとよりももっと、おおきかったのです。

“だいこんがこんなにおおきくて、いちばにだしてうれば、すごくたかくうれよ。”

ひとびとはおどろいて、いいました。

“いやいや、このだいこんはわたしたちのむらをよくおさめられている、ちょうかんさまにもっていこうとおもう。いちねんかん、ぶじにのうじをできるように、たすけてくださったではないか？”

やさしいのうふは、とてもおおきなだいこんをきれいなわらにつつんで、ちょうかんをたずねにいきました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“ちょうかんさま、おかげでいちねんかん、のうじをぶじにできました。そのなかで、いちばんいいだいこんをさしあげますので、うけとってくださいませ。”

ちょうかんはやさしいのうふがもってきただいこんをみて、おどろきました。

“こんなにおおきいだいこんはいちどもみたことがないなあ。こんなにきちょうなものをうけとって、ただでかえすわけにはいかない。おい、さいきんもらったものでいちばんいいものをこののうふにあげろ。”

すると、めしつかいがこうしをいっとうつれてきて、いいました。

“ちょうかんさま、いまあるもののなかでは、すこしまえにもらったこうしがいちばんいいです。”

このようにして、やさしいのうふは、とてもおおきなだいこんをわたして、いいこうしをいっとうもらうことになりました。

このはなしをきいたよくばりなのうふは、はらわたがにえくりかえるようで、がまんできませんでした。

“ふむ、あのまぬけなのうふがだいこんをあげて、こうしをもらっただと？そうしたら、わたしはもっといいものをもっていかなければ。そしたら、よりよいものをもらえるな。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

つぎのひ、あさはやく、よくばりなのうふはいえにいつとうしかいないこうしをつれて、しゅっぱつしました。

“フッフ、こうしをあげたら、すくなくてもきんじがねひとつはくださるだろう?”

よくばりなのうふはこうふんして、ちょうかんをたずねにいきました。

“ちょうかんさま、いちねんかん、わたしたちをよくみてくださって、こうしがこんなにふっくらとにくづきました。かんしゃのきもちですので、ころよくうけとってくださいませ。”

ちょうかんはよくばりなのうふがこうしをあげると、きぶんよくいいました。

“こうやっていいこうしをうけとって、ただでかえすわけにはいかない。おい、さいきんもらったものでいちばんいいものをこのうふにあげろ。”

ちょうかんがめしつかいにいいました。

“ちょうかんさま、すこしまえにもらったおおきいだいこんが、いちばんよいです。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

めしつかいは、おおきなだいこんをもってでてきて、いいました。これを見たよくばりなのうふは、とてもおどろきました。

“おや、まあ、わたしはおわったな、おわったよ。もったいない、わたしのこうしをどうしろというのか。”

こうして、よくばりなのうふはこうしをあげて、おおきなだいこんをうけとってくるしかありませんでした。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？こころのやさしいのうふがいちにちもやすまずにはたけしごとをして、こくもつはどうになりましたか？

はい、すべてのこくもつは‘すくすく(ムロクムロク)’そだちましたね。‘ムロクムロク(すくすく)’は、とてもけんこうでちからいっぱいにそだつようすをひょうげんすることばです。いっぽうで、よくばりなのうふのこうしも‘ふっくら(トシルトシル)’しました。‘トシルトシル(ふっくら)’は、ちょうどいいぐらいにふとったようすをいいます。このように‘ムロクムロク(すくすく)’と ‘トシルトシル(ふっくら)’は、せいめいがよくそだつようすをいいますね。みなさんも、‘ムロクムロク(すくすく)’、‘トシルトシル(ふっくら)’して、おおきくなってくださいね！

こころがやさしいのうふがかんしゃのこころをこめてちょうかんにおくったたべものは、なんでしたか？

そうですね。まさにだいこんです。だいこんでさまざまなりょうりをつくることができますね。とくにキムチをつけるときに、だいこんとはくさいがたくさんひつようです。だいこんをちいさなしかくのかたちにきって、まぜたキムチをカクトウキといいますね。だいかんみんこくでは、ふゆのあいだたべるためのキムチをいちどにたくさんつける、キムジャンぶんかがあります。キムジャンをするときにたくさんつけるキムチが、はくさいキムチとカクトウキです。キムチはせかいてきによくしられただいかんみんこくのだいひょうてきなたべものなのです。だいかんみんこくのキムチとキムジャンぶんかにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと“こうしといれかわっただいこん”のおはなしをいちどまとめてみましょうか？

やさしいのうふは、じぶんのはたけしごとをいっしょうけんめいにしながら、よくばりなのうふのはたけしごとまでたすけてあげました。そして、そのあいだにかんしゃしたちょうかんに、とてもおおきなだいこんをおくって、こうしをもらいました。これをみた、よくばりなのうふは、もっとおおきいものをほしくて、ちょうかんにふっくらしたこうしをあげましたが、だいこんをもらってききました。このように、まじめでやさしいところをもったおうふは、ふまじめでよくばりなのうふよりよいけっかをえることができました。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

🎵 いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！